

2022年度 第3学年 国語科 指導内容・評価規準

担当（ 石川 美穂 ）

<第3学年の重点指導目標>

- ① 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

NAVIMA 使用予定

月	学習事項	学習活動	時数	評価規準
4月	世界はうつくしいと	詩の言葉・文字の使い方・リズム・表現技法などに着目して詩を読み深め、朗読する。 作品に表れた作者の思いを読み取り、それに対する自分の意見をもつ。	2	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【態】進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
	握手	会話文の言葉やエピソードに着目して、登場人物の人物像や心情を捉える。	4	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えようとしている。 【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	評価しながら聞く	友達の意見を、内容についての賛否や論理的に述べているかなどを評価しながら聞き、自分の考えに生かす。	1	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【態】聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。
	季節のしおり	春の気象にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	1	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
5月	学びて時に之を習ふ	「論語」の教材作品を読み、孔子の人間の生き方についての観察や思索を捉え、自分たちの生活に生かしていきたい言葉を選び、伝え合う。	3	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	メディアの伝える情報の信頼性の確かめ方について理解する。	1	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	教材文を読み、さまざまな熟語の読み方について理解する。	1	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	作られた「物語」を超えて	筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたについて	3	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。

5月		評価する。		<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 <p>【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。</p>
	思考のレッスン 具体化・抽象化	教材文を読み、具体と抽象の関係で捉えられるものや、具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたについて理解する。	1	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。</p>
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける	話題を決め、信頼性の高い情報を集め、相手を説得できるように論理の展開を考えて、話の構成を工夫しスピーチをする。	4	<p>【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 <p>【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。</p>
6月	漢字に親しもう2	新出漢字を確認し、言葉の意味を調べ、文章の中で使う。	1	<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
	文法への扉1 すいかは幾つ必要？	教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。	1	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。</p> <p>【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>
	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論する。	3	<p>【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 <p>【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。</p>
	俳句の可能性 俳句を味わう	「俳句の可能性」を通読し、俳句の特色などを知るとともに、語句それぞれに込められた心情や情景を想像する。 感動の中心が伝わるよう、工夫して俳句を作る。	4	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。 ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように

			<p>論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【態】進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。</p>	
	言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目ざして	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。	2	<p>【知・技】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</p> <p>【態】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。</p>
	言葉 1 和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。	1	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【態】進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。</p>
	読書を楽しむ	「ブックトーク」、「読書会」、「読書生活をデザインする」の中から、夏休みに行う活動を選ぶ。活動の見通しを立て、夏休み明けにレポートを提出する。	1	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>【態】進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。</p>
7月	読書案内 読書コラム	本のさまざまな探し方について知り、見つけた本を読み、書評やポップを書き、読み合う。	1	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</p> <p>【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだりしたことを書評などにまとめたりしようとしている。</p>
	季節のしおり 夏	夏の気象にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	1	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>
	挨拶 ——原爆の写真によせて	語句や表現に込められた意味を読み取り作者のものの見方や考え方について、自分の意見を持ち、発表し合う。	3	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <p>【態】粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。</p>
9月	故郷	情景や登場人物の描写に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 読み深めたことを踏まえ、作品のもつ特性や価値について批評する。 作品から人間と社会との関わりについて考える。	6	<p>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 <p>【態】粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かし</p>

			て小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	聞き上手になろう	話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりする。	1 【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【態】粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
	[推敲]論理の展開を整える	目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整える。	2 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解し、短文を作る。	1 【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【態】積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。	1 【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	俳句を作る	修学旅行の思い出を俳句にする	2 【態】進んで修学旅行の体験を基に俳句を創作しようとしている。
	魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集する	選んだ文章形態にふさわしい構成や表現を意識しながら魅力的な旅行記となるよう工夫し、まとめ、読み合う。	4 【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 【態】進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
10月	人工知能との未来 人間と人工知能と創造性	内容の信頼性や客観性を確かめながら、それぞれの要旨を捉える。 二つの文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げる。	3 【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【態】積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く	批評文について知り、題材を選ぶ。 観点を決めて分析する。 意見と根拠の関係など、説得力のある論理の展開を考え、批評文を書く。	4 【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章

10月				<p>の構成を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【態】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。</p>
	漢字に親しもう 4	新出漢字を確認し、言葉の意味を調べる。	1	<p>【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
	[議論]話し合いを効果的に進める	話し合いの例を聞き、それぞれの意見の共通点と相違点を聞き取り、話の論点を整理する。話し合いの目的に合わせて、効果的に進めるために、話し合いの展望をもつ。	1	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【態】積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。</p>
11月	合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く	地域社会や学校生活、将来のことなどの中から解決したい課題を見つけ、議題を決める。グループで具体的な提案を考え、全体会議を開き、互いの意見のよいところを生かして合意形成する。	4	<p>【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【態】合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>
	音読を楽しもう 初恋	言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。	3	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。</p> <p>【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。</p>
	季節のしおり 秋	秋の気象にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	1	<p>【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。</p>
	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」について興味をもつ。 「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。	1	<p>【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。</p>
	君待つと ——万葉・古今・新古今	和歌を声に出して読み、和歌に表れた作者の心情や情景を想像し、用いられている表現技法について知る。 鑑賞文を書く。	3	<p>【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。</p> <p>【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。</p>
	夏草 ——「おくのほそ道」から	作品を朗読し、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。古典の言葉を引用し、メッセージを贈り、友達と読み合う。	4	<p>【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。

			【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
12月	古典名句・名言集	「古典名句・名言集」を朗読し、気に入った名句・名言を選ぶ。	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 【態】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
	誰かの代わりに	筆者の考えを確認しながら全文を通読する。筆者の考え方について話し合う。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合う。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 【態】論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
12月	本は世界への扉 エルサルバドルの少女ヘスース 紛争地の看護師 読書案内 本の世界を広げよう	「エルサルバドルの少女ヘスース」と「紛争地の看護師」を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。「本の世界を広げよう」を読み、読んだ本や、興味をもった本について語り合う。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。
	季節のしおり 冬	冬の気象にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ俳句や詩、名文を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
1月	温かいスープ	時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。国際性について自分の考えをもつ。	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	わたしを束ねないで	朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【態】詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今まで

				<p>の学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。</p>
2月	<p>三年間の歩みを振り返ろう</p>	<p>三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫して冊子にまとめ発表する。</p>	6	<p>【知・技】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 <p>【態】 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、これまでの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。</p>
	<p>漢字に親しもう6</p>	<p>三年間の漢字の総まとめとして、言葉の意味を辞書で確認しながら漢字を読んだり書いたりする。</p>	1	<p>【知・技】 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
3月	<p>学習を振り返ろう</p>	<p>小説を読み、表現を基に、登場人物の心情を考えたり、根拠を基に、自分の考えを書いたりして問題を解く。</p> <p>説明文を読み、先人の知恵や文化が受け継がれた言葉の一つを取り上げ、その意味と由来を説明する。</p> <p>スピーチ原稿を読み、論理の構成を考え、聞き手の興味を引くような説明のしかたを工夫する。</p> <p>図表を用いて説明するしかたについて考える。</p>	4	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 <p>【態】 粘り強く文章や資料を読み取り、これまでの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。</p>

< 補充教材（発展的内容）の取り扱い >

単元教材の合間や学期の終わりに短く浅く広く触れることで、興味関心をもたせる。

後に、個人が興味をもって深めていけるように動機付けをする。

また、教材をより理解するために補充的な教材を使用する。

書写（毛筆、硬筆）の授業を実施する。（ICT 使用）

< 評価の方法 >

観点1（知識・技能）：小テスト、授業の課題プリント、定期考査

観点2（思考・判断・表現）：発表・話し合い（スピーチ、プレゼンテーション、パネルディスカッション）・

聞き取りテスト、作文（意見文、感想文、スピーチ原稿）、俳句、課題プリント、定期考査

観点3（主体的に学習に取り組む態度）：提出物（ワーク、ノート、プリント等） 授業への取り組み 定期考査

<評定算出にあたっての重みづけ>

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1